

# 「市町村子ども・子育て支援事業計画」 作成時の利用希望などの把握について

平成 25 年 4 月 26 日

## 1. 制度上の位置付け

○市町村子ども・子育て支援事業計画には、計画期間（５年間）について「量の見込み」と「確保の内容」・「実施時期」を記載。

○「量の見込み」は、「現在の利用状況」＋「今後の利用希望」を踏まえて設定。

←「今後の利用希望」を把握するためには、住民に対する利用希望の調査が必要。  
(資料６－３　Ｐ４・５参照)

○昨年８月に成立した子ども・子育て支援法においては、

- ・子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向などを勘案して作成、
  - ・子ども及びその保護者の置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して作成するように努めるものとする、
- ことを法定し、市町村による住民の利用希望などの把握を明記。

→子ども・子育て支援新制度では、住民の利用希望の把握の必要性が高い。

※次世代育成支援対策推進法の市町村行動計画には、上記の規定はなし。

<子ども・子育て支援法第62条(抄)>

- 1 市町村は、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画(以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。)を定めるものとする。
- 4 市町村子ども・子育て支援事業計画は、教育・保育提供区域における子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向その他の事情を勘案して作成しなければならない。
- 5 市町村は、教育・保育提供区域における子ども及びその保護者の置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村子ども・子育て支援事業計画を作成するよう努めるものとする。

## 2. 利用希望などの把握にかかる考え方について

### (1) 利用希望の把握の主体

○新制度の実施主体たる市町村が、具体的な内容を決定。

※利用希望の把握の実施時期、実施方法など

○国は、新制度の趣旨に照らし、下記を実施。

①各市町村の事業計画に「量の見込み」が適切に設定されるよう、利用希望の把握方法のひな形を提示。

※各市町村は、上記のひな形を踏まえて具体的な内容を決定。

②各市町村が作成する事業計画において設定される「量の見込み」について、「現在の利用状況」＋「今後の利用希望」を踏まえて設定することを、国の基本指針に規定。

### (2) 利用希望の把握方法

#### ①対象年齢

○新制度は、「幼児期の学校教育」・「保育」・「地域の子育て支援」の3本柱。

・「幼児期の学校教育」・「保育」 → 対象年齢は就学前の子ども（0～5歳）

・「地域の子育て支援」 → 対象年齢は、放課後児童クラブ（小学生）を除き、概ね就学前の子ども（0～5歳）

→ 利用希望の把握は、就学前の子ども（０～５歳）を主たる対象としてはどうか。

※放課後児童クラブについて、利用希望の把握の対象は、別途検討。

## ②把握方法

- ・対象年齢の子どもがいる世帯へのアンケート調査。（→抽出調査が基本）
- ・具体的な抽出方法は、各市町村において設定。

## ③把握する具体的な項目

１）利用希望を把握する事業の区分・・・就学前の子ども（０～５歳）

- ・「幼児期の学校教育」・「保育」 → 定期的な利用が主。  
（例：月～金の利用で１日○時間／月・水・金の利用で月△時間 など）
- ・「地域の子育て支援」 → その都度の利用が主。  
（例：地域子育て支援拠点事業を週□日程度利用 など）
- ・放課後児童クラブは対象年齢が異なるため、別に調査項目を設けて把握。

→ 「幼児期の学校教育」・「保育」と「地域の子育て支援」とでは、利用実態・希望に差があることから、「定期的に利用する事業」、「その都度の不定期で利用する事業」の大きく２グループに分けて項目を整理してはどうか。

★「幼児期の学校教育」に含まれる事業・・・

幼稚園、認定こども園（標準時間）

※幼稚園における「預かり保育」については、利用の有無や利用状況を区別して把握。

★「保育」に含まれる事業・・・

認可保育所、認定こども園（長時間利用）、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育、自治体が独自に認証・認定した保育施設、その他の認可外保育施設 など

☆「地域の子育て支援」に含まれる事業・・・

子育て短期支援事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業 など

2) 1) の各区分に応じて「現在の利用状況」＋「今後の利用希望」を把握。

→ 現在の利用状況のまま／現在利用している事業について利用頻度を変更したい／現在は利用していないが今後は利用したい など

※一歳まで育児休業を取得できた場合の利用開始の希望時期を併せて把握。

3) 「保育」は就労状況によって利用可否が変わる

※新制度では保育の必要性の認定は保護者の就労が主たる要件。

→ 今後の就労希望を調査。

・就労を希望する時期や就労形態等について複数の選択肢を付して聞く。

#### ④検討に際して考慮すべき点

○次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画策定時の調査における課題点について（これまでに寄せられた意見と対応方針）

＜実際の必要量よりも見込み量が多く出る傾向との意見＞

- ・保育の必要量が実際の利用状況に比べて高く出る傾向が見られる。  
（「働きたい」と希望しても、実際の就労に結びつかないケースがある／利用料の記載がない など）
- ・放課後児童クラブの必要量が実際の利用状況に比べて高く出る傾向が見られる。（「働きたい」と希望しても、実際の就労に結びつかないケースがある／利用料の記載がない など）
- ・その他の事業（一時預かり、病児・病後児保育等）の必要量が実際の利用状況に比べて高く出る傾向が見られる。（類似の機能を有する事業について、事業ごとに利用希望を聞いている／利用料の記載がない など）

- ・一定の利用料が発生することを明記。  
・就労希望の時期や就労形態等について複数の選択肢を付して聞く。  
・同趣旨の事業の利用希望についてはまとめて把握し、実施する事業の振り分けについては、各自治体が裁量を持てる形にする。

<見込み量が十分ではないとの意見>

- ・子育て家庭の孤立化が進んでいる。
- ・地域の子育て支援の認知度が十分でなく、質が十分でないため、利用希望が出にくい。

(「地域の子育て支援」(放課後児童クラブ含む。))

○調査項目を増やしてきめ細かな調査をしたいという自治体と、項目を絞ってわかりやすくしたい(簡略で回答しやすい調査)という自治体の双方あり。

- 必須(=全国共通)項目を明確化しつつ、必要に応じて、項目を追加あるいは、絞り込みができるような仕組みが必要。



いずれにせよ、実施主体たる市町村の意見を反映しながら検討することが必要。

つづく



### （３）今後の検討の進め方（案）

- ・ 国で調査項目（調査票）のたたき台（別添）を提示。
  - 実施主体たる市町村の意見を反映し、必要な修正を加える。
  - 次回の会議に調査項目（調査票）の案として提示。

# 調査票のイメージ(たたき台)

○自治体において調査項目をご検討いただくために作成した資料  
※いただいたご意見を反映し、必要な修正等を行う予定

○調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

## お住まいの地域についてうかがいます。

問〇 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに〇をつけてください。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. 〇〇 | 2. 〇〇 | 3. 〇〇 |
| 4. 〇〇 | 5. 〇〇 | 6. 〇〇 |

## 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字で記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 □□年 □□月生まれ

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

- |       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 ( ) |
|-------|-------|------------|

問4 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問5 宛名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

- |         |         |          |            |
|---------|---------|----------|------------|
| 1. 主に母親 | 2. 主に父親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 ( ) |
|---------|---------|----------|------------|

子育て環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ⇒ 問7へ

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ⇒ 問7へ

問6-2 問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- )

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

2. ない ⇒ 問8へ

問7-1 問7で「1.ある」に○をつけた方にうかがいます。気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当  
てはまる番号すべてに○をつけてください。

10. その他 ( )

問8 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 9 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である<br>3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である<br>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6. これまで就労したことがない | } ⇒ (1) -1 へ<br><br>} ⇒ (2) へ |
|--|-------------------------------|

（１）-1 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1 週当たり □ 日	1 日当たり □ □ 時間
------------	---------------

（１）-2 （１）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 □ □ 時	帰宅時間 □ □ 時
--------------	------------

（２）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない<br>2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である<br>3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である<br>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6. これまで就労したことがない | } ⇒ (2) -1 へ<br><br>} ⇒ 問 11 へ |
|--|--------------------------------|

（２）-1 （２）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1 週当たり □ 日	1 日当たり □ □ 時間
------------	---------------

（２）-2 （２）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 □ □ 時	帰宅時間 □ □ 時
--------------	------------

問 10 問 9 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 もしくは問 12 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイムへの転換希望はない

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイムへの転換希望はない

問 11 問 9 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(一枠に数字は一字)。

(1) 母親

1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態 

{	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	}
---	---	---
2. 1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい
3. 就労したくない

(2) 父親

1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態 

{	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	}
---	---	---
2. 1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい
3. 就労したくない

## 宛名のお子さんの日中の定期的な保育・教育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「日中の定期的な保育・教育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、保育所や幼稚園など、問 12-1 に示した事業が含まれます。

問 12 宛名のお子さんは現在、保育所や幼稚園などの「日中の定期的な保育・教育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 12-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 12-5 へ

問 12-1 問 12-1～問 12-6 は、問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日の日中どのような保育・教育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認可保育所  
(国が定める最低基準に適合した施設で  
都道府県等の認可を受けたもの)

2. 認定こども園  
(保育施設と幼稚園の機能を併せもつ  
施設)

3. 家庭的保育  
(保育ママ：保育者の家庭等で子どもを  
預かる事業)

4. 事業所内保育施設  
(企業が主に従業員用に運営する施設)

5. 自治体の認証・認定保育施設  
(認可保育所ではないが、自治体が認証・  
認定した施設)

6. その他認可外の保育施設

7. 幼稚園  
(通常の就園時間の利用)

8. 幼稚園の預かり保育  
(通常の就園時間を延長して預かる事業のう  
ち定期的な利用のみ)

9. 居宅訪問型保育  
(保育者が子どもの家庭で預かる事業)

10. ファミリー・サポート・センター  
(地域住民が子どもを預かる事業)

11. その他 ( )

問 12-2 平日の日中に定期的に利用している保育・教育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(一枠内に数字は一字)。時間は、必ず (例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 ( □□ 時～ □□ 時)

(2) 希望

1 週当たり □ 日

1 日当たり □□ 時間 ( □□ 時～ □□ 時)

問 12-3 現在、利用されている事業の実施場所についてうかがいます。

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問 12-4 平日日中の保育・教育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話をしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護している
4. 病気や障害がある
5. 学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育や発達のため
7. その他（ ）

問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 預ける必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 預けたいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 預けたいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら預けようと考えている
9. その他（ ）

問 13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の日中の保育・教育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(自治体における料金設定を示す)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で<br>都道府県等の認可を受けたもの)  | 2. 認定こども園<br>(保育施設と幼稚園の機能を併せもつ<br>施設)              |
| 3. 家庭的保育<br>(保育ママ：保育者の家庭等で子どもを<br>預かる事業)           | 4. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                  |
| 5. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・<br>認定した施設) | 6. その他認可外の保育施設                                     |
| 7. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)                             | 8. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のう<br>ち定期的な利用のみ) |
| 9. 居宅訪問型保育<br>(保育者が子どもの家庭で預かる事業)                   | 10. ファミリー・サポート・センター<br>(地域住民が子どもを預かる事業)            |
| 11. その他（ ）   |  |



## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいのひろば」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回 程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： ）  
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回 程度
3. 利用していない

問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが利用したい  
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり ☐ 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい  
1 週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に ☐ 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
〇〇〇〇〇	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
〇〇〇〇〇	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

## 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」 保育・教育事業の利用希望についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育・教育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

### （1）土曜日

- |   |   |  |
|---|---|--|
| 1. ほぼ毎週利用したい<br>2. 月に1～2回は利用したい<br>3. 利用希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯<br><div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>□□時から</span> <span>□□時まで</span> </div> |
|---|---|--|

### （2）日曜・祝日

- |   |   |  |
|---|---|--|
| 1. ほぼ毎週利用したい<br>2. 月に1～2回は利用したい<br>3. 利用希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯<br><div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>□□時から</span> <span>□□時まで</span> </div> |
|---|---|--|

問 17-1 問 17 の（1）もしくは（2）で、「2. 月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため       | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため                  |
| 5. その他（ ）            |                            |

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の保育・教育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時（例）のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- |  |   |  |
|--|---|--|
| 1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい<br>2. 休みの期間中、週に数日利用したい<br>3. 利用希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯<br><div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>□□時から</span> <span>□□時まで</span> </div> |
|--|---|--|

問 18-1 問 18 で、「2. 週に数日利用したい」と答えた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため       | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため             |
| 5. その他（ ）            |                       |

## 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日日中の保育・教育を利用する方)

問 19 平日日中の定期的な保育・教育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 12 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 20 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった                      ⇒ 問 19-1 へ                      2. なかった                      ⇒ 問 20 へ

問 19-1 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の保育が利用できなかったことはありますか。あった場合は、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください）。

	1 年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	イ. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	ウ. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	エ. 就労していない保護者がみた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	カ. ベビーシッターを頼んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	キ. ファミリー・サポート・センターにお願いした	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	ケ. その他 (                      )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. なかった	⇒ 問 20 へ	

※「キ.ファミリーサポートセンター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 19-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等に預けたい ⇒ ☐☐ 日 ⇒ 問 19-3 へ  
2. 預けたいとは思わない ⇒ 問 19-4 へ

問 19-3 問 19-1 で「1. できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設（例：保育所・幼稚園等）に併設した施設で子どもを預かる事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
3. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
4. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
5. その他 (                      )

⇒ 問 20 へ

⇒ 問 19-5 へ

問 19-4 問 19-2 で「預けたいと思わない」理由はなんですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                      |                        |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に預けるのは不安                 | 2. 地域の事業の質に不安がある       |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間<br>日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い          |
| 5. 利用料がわからない                         | 6. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない |
| 7. その他（                              | ） 8. 特に理由はない           |

⇒ 問 20 へ

問 19-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1  
つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 20 へ

2. 休んで看ることは考えられない ⇒ 問 19-6 へ

⇒ 問 20 へ

問 19-6 問 19-5 で「休んで看ることは考えられない」理由はなんですか？当てはまる番号すべてに○をつけて  
ください。

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない   | 4. その他（       |

）

**宛名のお子さんの不定期の保育・教育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
2. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
4. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. 利用していない		

⇒ 問21へ

問 20 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用したい事業が地域にない	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない	4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない	6. 自分が事業の対象者になるのかわからない
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	8. その他（ ）
9. 特に利用したいとは思わない	

問 21 宛名のお子さんに関して、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □□ 日
ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院	□□ 日
ウ. 不定期の就労	□□ 日
エ. その他（ ）	□□ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問22へ	

**問21-1へ**

問 21-1 問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：保育所・幼稚園等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア （同居者を含む）親族・知人に預けた	□□ 泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業）	□□ 泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ その他（ ）	□□ 泊
2. なかった		

問 22 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」と答えた方にうかがいます。

⇒**ア. 以外を選択した方は 問 23 へ**

問 22-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

# 宛名のお子さんが●歳以上である方に、小学校就学後の希望等についてうかがいます。

⇒ 3歳未満の方は、問 27 へ

※利用希望の把握の対象は別途検討

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間もお答えください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問 25 問 23 または問 24 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）9 時～1 8 時 のように 2 4 時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

問 26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）9 時～1 8 時 のように 2 4 時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の  
両立支援制度についてうかがいます。

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 □□□日
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった
10. 最初から制度を利用することを考えていなかった
11. 育児休業の制度がなかった
12. その他( )

問27で母親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 28 へ

問 27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	
2. 現在も育児休業中である	⇒ 問27-6へ
3. 育児休業中に離職した	⇒ 問28へ

問 27-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか？あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1つ に○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 27-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。( )内に数字でご記入ください。

<b>実際</b> <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	<b>希望</b> <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---	---

問 27-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 27-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため         | 2. 希望する保育所に入れなかったため    |
| 3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった | 4. 配偶者や家族の希望があったため     |
| 5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため | 6. 経済的な理由で早く復帰する必要があった |
| 7. その他（                 | ）                      |

問 27-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 短時間勤務制度を利用した                        |
| 2. 職場に短時間勤務制度がなかったため、利用しなかった           |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額されるため、経済的理由により利用しなかった |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がるため利用しなかった |
| 5. 制度があることを知らなかったため、利用しなかった            |
| 6. 特に利用するの必要を感じなかったため、利用しなかった          |
| 7. その他（                                |

問 27-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 27-6 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

問 28 最後に、子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。